

小学校		
No.	「特色ある教育活動の推進」の取り組みと成果	「開かれた学校づくり」の取り組みと成果
1	読書活動の充実、地域行事(神楽坂阿波踊り・豆まき)への参加、一関市立金沢小学校との交流などの取り組みを行うことで、本・読書が好きなお子が増えた。また、地域と伝統を大切にする心が育ち、地方のよさや食・伝統文化に興味をもつ子供が多くなった。	図書ボランティア・みどりのボランティアなどの人材活用、地域協働学校としての情報発信と収集・活用などの取り組みを行うことで、学校の読書活動や栽培活動がより充実し拡大した。また、地域の声を活かした学校の活動や良さをさらにPRできるようになった。
2	異学年交流や保幼小の連携、地域の人との関わりなどの豊かに人と関わることによるコミュニケーション能力の育成や心の教育の推進、全学年算数少人数指導の実施等、基礎・基本的な知識及び技能習得の取り組みを行うことで、言語活動の充実を図られ、学校公開等での好評を得ることができた。	地域協働学校として、地域の人や保護者の参画による学習内容・学習形態・教育活動を増やし、学校評価を開示している取り組みを行うことで、地域・保護者の教育活動の理解を高めることができた。
3	少人数のアットホームな雰囲気を大切に異学年交流の実施(毎日)や「本物から学ぶ」をコンセプトにした外部との連携を図った教育活動の取り組みを行うことで、学ぶことが明確になり、学ぶ充実感が高まった。	HPの充実、学校説明会の休日開催、行事の積極的な公開、近隣・幼・保を招待する等の取り組みを行うことで、学校説明会の参加者、行事等の来校者の増加につながった。
4	地域との連携、保護者のサポート強化、朝一番の読書活動の推進(毎日)、体力向上の推進の取り組みを行うことで、地域・PTA行事が盛んとなり、児童の参加が年々増加してきている。また、児童が落ち着いて学習に集中できる態度が備わってきている。	全校児童と保護者・地域との地域清掃(年2回)、スクールコーディネーターや地域協働学校を活用した地域行事への子どもの参加、HPの毎日の更新などの取り組みを行うことで、子どもたちが直接、地域の方々と触れ合い、日常的に顔を互いに覚え、あいさつもできる関係性の向上につながった。
5	自他の生命を尊び心身ともに健康な児童を育成する「いのちの学習」、校庭の天然芝を活用した活動、高学年による鼓笛隊、地域人材・地域の施設・設備を活用した体験学習、異学年交流、縦割班活動などの取り組みを行うことで、「特色ある教育活動の推進」を図ることができた。	ふれ合い月間、学校アンケート、連絡板、地域協働学校運営協議会の開催・活動の推進・協議会だより(月1回)の発行などの取り組みを行うことで、「開かれた学校づくり」を図ることができた。
6	「鉄炮組百人隊」の教材化、和だいこ、地域とのあいさつ運動、夏休みワクワクスクールなど地域の実態・特色を活かした活動の取り組みを行うことで、より地域との連携の深まりを高めることができた。	あいさつ運動、避難所訓練、放課後学習など地域に開かれた学校の取り組みを行うことで、PTAや地域の方々の積極的な参加につながった。
7	読書の時間を時程の中に位置付けた読書活動の推進、学力向上・補充に関わった放課後学習教室の実施、金管バンドの活動を生かした音楽教育などの取り組みを行うことで、読書への関心が高まり、進んで本を読む児童や読書量が増加した。また、自ら課題をもって学習教室で学んだり、授業での理解が十分ではなかった児童への着実な学習内容の理解が高まった。	地域の人材を活用した江戸小紋や消防活動、学校の周辺の名跡等の学習、図書ボランティアによる読み聞かせなどの取り組みを行うことで、数多くの保護者・地域の方が学習活動の計画の段階から参画し、学習内容の充実・教育活動に対する支援が高まってきている。
8	「花いっぱい実いっぱい運動」、「落合の里」を活用した教育活動の取り組みを行うことで、「地域の方々と交流」が継続でき、人と自然との関わりを大切に心豊かな児童の育成につながっている。	地域の方々を様々な学習場でゲストティーチャーとして招き、豊かな関わりを大切に教育活動の推進などの取り組みを行うことで、愛校心や、落合の地域に育つ誇りや地域愛の育成につながっている。
9	「ユネスコスクール」、総合的な学習の時間「なかま(国際理解)」「みどり(環境・奉仕)」「いのち(人権・福祉・安全)」、「ユネスコESDパスポート」を取り入れた活動等の取り組みを行うことで、自国のみならず外国の理解・友達や地域の方と協力していくことの大切さの理解、よりよい世界(日本)にしていこうとする態度の育成につながっている。	地域協働学校、学校教育目標・学校経営計画等の共通理解、学校を支援する組織(図書支援部、園芸支援部、学習支援部、安全支援部)の設置の取り組みを行うことで、者・地域の方が積極的に直接、学校運営に参加し、学校の状況を理解し、学校の状況に応じた支援をいただけるようになった。
10	ICTの活用、保・幼・小・中との連携、金管バンドの活動の取り組みを行うことで、学力の向上に良い影響・系統性が分かるようになり、児童の自信が高まった。	地域協働学校の支援組織を活用した児童の学習補助、校外学習の取り組みを行うことで、地域・保護者の関係がつながり、学校への積極的な参加が高まった。

中学校		
No.	「特色ある教育活動の推進」の取り組みと成果	「開かれた学校づくり」の取り組みと成果
1	「全校給食」をはじめとした学年を取り払った「総合的な学習の時間」等の全校一斉の活動の取り組みを行うことで、「全校が一斉に行う」という協働を、体感的に学ぶことができ、一人ひとりの生徒の有用感を高めることができた。	道徳授業地区公開講座では、地域のゲストティーチャーを招き、生徒とのグループディスカッションを行うなど、学校を公開する機会を多く設定する取り組みを行うことで、保護者からの「学校の様子は良く伝わっている」との評判を高めることができた。
2	地域行事への参加のスローガン設定、ボランティア活動(年11回)の参加、職場訪問・体験、防災活動等、地域で取り組みを行うことで、生徒が地域に知られるようになり、色々な声を聞かせるようになった。	地域行事や地域での活動 広報活動の充実の取り組みを行うことで、生徒が地域に知られるようになり、色々な声を聞かせるようになった。
3	生徒による授業評価(年2回)、教育ボランティア等を活用した放課後学習・長期休業中の補充教室、伝法工芸の学習、地場産業との連携教育や留学生を招いての国際理解教育の取り組みを行うことで、授業改善がスピーディーに行なわれ、基礎学力向上につながった。また、日本文化理解や諸外国の状況理解の進展に役立った。	ジョイントコンサート、地域サッカー、少年野球大会の実施や地域センターでの教育活動の紹介、HP、学校だよりの活用などの取り組みを行うことで、地域・保護者が学校教育活動を的確に理解してもらえるようになった。
4	小規模校の利点を生かし、生徒一人ひとりに対してのきめ細かな指導、各教科でのシラバス作成や個に応じた学習指導、全校体制での家庭学習ノートの活用での家庭学習の習慣を身につけさせる取り組みを行うことで、学校の教育方針や教育活動に理解を示し協力する保護者が増え、また、教員の意識が特色ある教育活動を行い、選ばれる学校にしようとするようになった。	保護者や地域の諸団体の支援と協力のもと、本校独自の行事等の充実、学生ボランティアの活用、授業中や放課後の学習支援、学校ホームページの充実、学校情報の定期的な発信などの取り組みを行うことで、保護者や地域住民の学校への理解が深まり、協力してくれるようになり、また、外部人材の活用により、学校の教育力が高まった。
5	土曜スクールの実施、計算・スペリング・漢字コンテストの実施、朝読書の実施等の取り組みを行うことで、学習に対する意欲が高まり、落ちついた学校生活・授業の体制づくりが確立された。	学校公開週間の積極的アピール、地域とともに行う総合防災訓練などの取り組みを行うことで、保護者が学校の良さを理解してもらえるようになった。